

東京弁護士会 子どもたちと弁護士がつくるお芝居

もがれた翼パート19

待てど暮らせど

僕は、あなたのために勉強するんじゃない

2012年8月25日(土) 豊島公会堂

入場無料・全席自由(予約は承っておりません)

昼の部:14時30分開場、15時開演 / 夜の部:18時開場、18時30分開演

※上演時間は概ね90分を予定しております。

脚本 坪井花梨(社会福祉法人カリヨン子どもセンター) / 演出 米内山陽子 / 舞台監督 村田綾香 / 出演 子どもたちと東京弁護士会の弁護士
照明 木村秀信(スクラムスタッフ) / 音響 余田崇徳 竹田雄(Three Quarter) / チラシデザイン 田中広大
制作 東京弁護士会子どもの人権と少年法に関する特別委員会 / 主催 東京弁護士会
協力 社会福祉法人カリヨン子どもセンター 特定非営利活動法人演劇百貨店

教育虐待

「もがれた翼」は、東京弁護士会が行っている電話相談「子どもの人権110番」に寄せられる、少年事件やいじめ、虐待など子どもの人権をめぐるさまざまな問題をテーマにして、子どもを取り巻く現実と現代的課題を広く皆さんに知っていただくため、1994年の子どもの権利条約の批准を機に子どもたちと弁護士でつくってきたお芝居です。

「もがれた翼」をきっかけに、社会福祉法人カリヨン子どもセンターが設立され、日本で初めての子どものためのシェルターが誕生しました。その後、子どもシェルター開設の動きは全国に広がり、現実の社会に対して大きな影響を与えています。



カリヨンのシェルターに、とても成績優秀な子どもたちが逃げて来るケースが増えています。親が子どもに対し、良い成績を取るために強いプレッシャーをかけ、子どもの人格をも否定して執拗に勉強を強要し、その結果、子どもたちが心身共に疲れ果て、追い詰められて…。そんな教育の名を借りた虐待が現実に行われています。

親たちが、子どもたちを、そこまで追い詰めてしまう背景には何があるのでしょうか。



現在、学校自体が管理され、学校現場は生き残りをかけた過剰な競争を余儀なくされています。競争を制するための至上命題は学力向上。教職員もそれぞれ厳しく能力を評価され、競わされています。

他方で、教育予算削減のために、強力に公立学校の統廃合が推し進められている現実もあります。そのような中で、「遠くの学校や私立の学校には通わせられない。」そんな学校を選択する余力のない家庭の子どもたちにもしわ寄せが来ています。

教育は、誰のためのものなのか？ 子どもが真ん中にある教育とは、どのようなものなのか？

もがれた翼パート19「教育虐待」、皆さんと一緒に考えたいと思います。

2012年 **8月25日(土)**

入場無料・全席自由

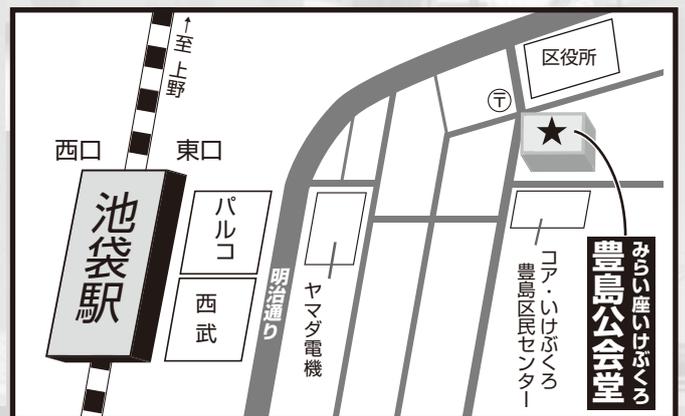
昼の部：14時30分開場、15時開演 (予約は承っておりません)

夜の部：18時開場、18時30分開演

※上演時間は概ね90分を予定しております。

場所 豊島公会堂

東京都豊島区東池袋1-19-1 / TEL. 03-3984-7601
(JR池袋駅東口 徒歩約5分)



◆開場時間まではロビーにお入りいただくことができませんので予めご了承ください。◆冷房が効き過ぎることがありますので、上着等をお持ちください。

お問い合わせ先 / 東京弁護士会人権課 03-3581-2205

<http://www.toben.or.jp/kodomo/>

東京弁護士会・子どもの人権救済センター

子どもの人権110番

<http://www.toben.or.jp/kodomo/>

「いじめられている…」「虐待された…」「家には帰れない…」「悪いことをしちゃったんだけど…」

名前を言わなくても大丈夫。
秘密は守るし、嫌になったら切ってもいいからどんなことでも一緒に考えヨッ

03-3503-0110

子どもの人権110番(電話相談)

月～金曜…13:30～16:30、17:00～20:00

土曜 …13:00～16:00

つらくなったら
ひとりで悩まず
相談して!

